

設備工事情報シート	電気	I-E-10-改 ₂	制定	2006年4月1日
			改訂	2014年2月1日

施工要領	厚鋼電線管Z用 ねじなし防水カップリング	パナソニック編
------	-------------------------	---------

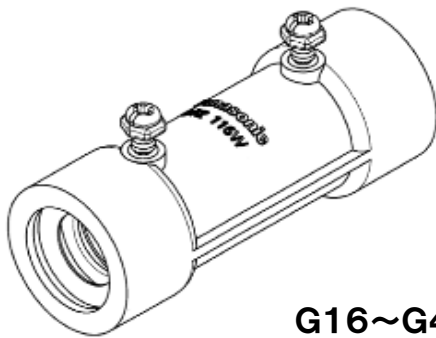
1. 目的・概要

電気設備配管に使用される厚鋼電線管は、通常ねじ接続で施工されるが、ねじなし付属品による接続工法も普及してきた。その使用できる工事範囲と、施工要領及び使用部材はメーカーごとに異なるため認識不足による不具合を防止するには、施工前に採用メーカーの対応工事範囲と接続方法を確認する必要がある。以下に、パナソニック（株）での施工要領及び施工ポイントを示す。

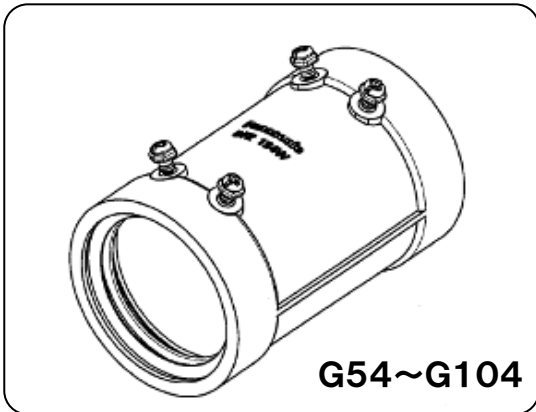
2. 施工要領

固定ねじの締付本数は違うものの、基本的な施工要領は全サイズ共通

商品姿図



G16~G42

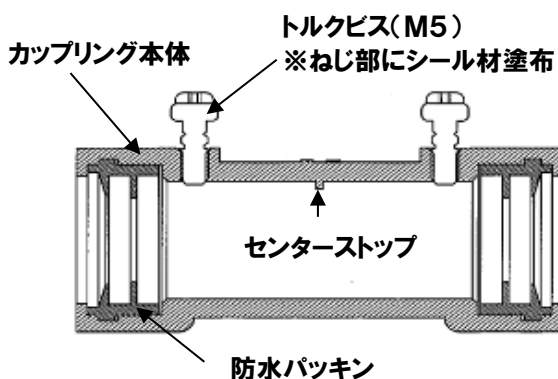


G54~G104

【基本施工要領】

- 1) 厚鋼電線管Z（以下、本体という）に防水型ねじなしカップリング（以下、付属品という）を挿入する際は、必ず滑走材（別売）を本体又は付属品のパッキン部分に噴霧する。
滑走材を噴霧することで、摩擦抵抗を軽減し円滑に施工ができる。
- 2) 滑走剤を噴霧後、本体と付属品を接続する。
挿入に方向性はない。
また、本体の管端は、ねじ付、ねじ無どちらでも挿入が可能。ただし、管端を切断した本体を使用する場合は、管端にバリがなく面取りされていること。
- 3) 挿入した本体は、付属品センターに設けたセンターストップ（商品断面参照）に当るまで確実に挿入する。
- 4) 本体が確実に挿入されたことを確認し、トルクビスの六角頭部がねじ切れるまで締め付ける。
このとき、締付トルクを安定させるためボックスドライバーの使用を推奨する。

商品断面



【付加機能】

- 1) 配管の変更、撤去などの必要が生じた場合、トルクビスの掴み代（ローレット部）をペンチで掴んでビスを緩めることで、ビスを抜き取ることができます。
- 2) センターストップは、マイナスドライバ等で叩き折ることができ、送り配管も可能。

資 料

3. 特長

(1) 材質

カップリング本体：JIS H2201に規定するダイカスト用亜鉛合金（ZDC2）を使用した鋳物。
表面は電気亜鉛めっき処理

防水パッキン：合成樹脂（EPDM）

接続ねじ（トルクビス）：SUSXM7

(2) 接続

接続にはトルクビスを採用し、作業者による締付のバラツキを防止するとともに、六角頭部をねじ切ること、締付が完了していることを目視で確認できる。

また、ねじ部からの水の浸入を防止するため、ねじ山にシール材を塗布している。

(3) 性能

- ・防水性能：JIS 0920に規定するIPX5の防水性能
- ・電気接続：JIS 8461-1に規定する、ボンディング試験を実施し、0.1Ω以下
- ・引張強度：JIS 8461-1に規定する、引張試験を実施し、1000N以上

4. 注意点

(1) 電気用品安全法に定められた電線管附属品でない為、ケーブル保護管用としてのみ使用できる。
電気設備の技術基準に規定する、金属管配線では使用できない。

(2) ケーブル保護管用附属品（ねじなし防水カップリング）については、JIS規格がないため
JISマークは表示できない。

5. 問い合わせ先

・東京電設営業所 03-6218-1570
（東日本） 担当：田崎範人

・大阪電設営業所 06-6945-7803
（西日本） 担当：立石浩一